



しりょうかんだより



No.17



郷土資料館ニュース!!

郷土資料館下半期の活動を紹介します。



ふくわらい体験中とっても楽しそう!



親子おこしものづくり講座



おいしいおこしものできたかな?

郷土資料館の
ひなまつり



ミニ門松づくり講座
水引あわじ結びに挑戦中!
むずかしかったかな?

冬休み子ども週間
「お正月遊びを
楽しもう!」
を開催しました。

花もちづくり講座餅つき体験中



貝あわせづくり

「ねらいを定めて、えいっ!」
どうせんまよう
投扇興を楽しんでいます

春休み子ども週間



紋きりあそびどんな模様かな~

これからもいろいろな催しを開催します。郷土資料館へあそびにきてください。



知ってる?! とよたのれきし

「いわかげ遺跡発見か?」

豊田市内には1,000を超える遺跡があります。その中にわずかですが「いわかげ遺跡」とよばれるものがあります。「いわかげ(岩陰)」とは自然にあるほら穴のような場所で、人間は遠いむかしからこのような場所をキャンプ地としていました。小原地区に西山遺跡という遺跡があります。この場所では縄文時代の土器や石器がかって採集されたようです。しかしその場所は、豊田市と土岐市の間にそびえる「西山」の山中にあり、地図を見ても遺跡が存在するとは思えないけわしい場所です。道もわからず困っていたところ、「小学生の頃、先生に連れられ山の遺跡に行き、大きな石のくぼみに遺跡があった。」というおじいさんに出会いました。「ひょっとしたら岩陰遺跡かも...」というヒントを基に、雪でガチガチに凍った山を登り、半日かけて遺跡を探しました。その場所は山の頂上までわずかのところで、10m近い大きな石がいくつも突き出ていました。石の根元には平らな場所があり、昔の人はこういった場所でキャンプをしたのかもしれません。



西山遺跡(田代町)

おかしのあそび —紋きいあそび—

平安時代からあるといわれる家紋。その家々の目印とするため嫁入り道具、武器、衣服などに紋を付けました。

江戸時代には紋を使った「紋きりあそび」が流行しました。折った紙を下書きのとおりに入れて開くと、たちまちすばらしい紋が現れます。紋は家紋だけでなく、現在のマークのようにお店や個人で用いられ、草木や花をデザインしたものや、幾何学もようなものもありそれぞれに名前がつけられていました。



「みつくずのは」強い生命力をもつ草の葛。甘い香りの花は秋の七草、根は葛粉、つるは布やかごになります。この葉を3枚組み合わせさせた文様が「みつくずのは」です。

「こうりんまつ」古くから人々は冬でも枯れずに青々と茂る松や竹に特別な生命力を感じてきました。新年にはその年の無事を祝うため門松を立てたり、客人を「待つ」玄関には松の木を植えました。



みなさんも江戸時代の文化にふれながら紋きりあそびを楽しんでみてはいかがでしょうか。

民具
M I N G U

かさ 傘
笠・傘

笠はイグサやわらや竹などで編んだ頭にかぶるものです。雨や雪を防ぎ日光をさえぎる役目をしました。農作業をする時や外出時に使われました。昔話の「かさ地蔵」に出てくる「かさ」のことです。また、この笠に長い柄をつけたものが傘の始まりです。笠をカブリガサというのに対して傘はサシガサと呼ばれました。初めは身分の高い人が従者に差してもらって使いましたが、江戸時代になると竹の骨に紙をはった傘が登場し一般庶民も使うようになりました。「蛇の目傘」というのはこの傘に太い白色の輪の模様をつけたものをいいます

しりょうかんだより No.17

平成20年3月31日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471 - 0079 豊田市陣中町1-21

でんわ 0565 - 32 - 6561

URL <http://www.toyota-rekihaku.com>

E-mail rekihaku@city.toyota.aichi.jp

郷土資料館は、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、遺跡の発掘調査などを行っています。